

二十歳になった私たち。

荒井志織さん（飯岡）



今年、西条市では1170人が成人式を迎えました。決して少なくない人数ですが、20年前は約1400人。少子化は確実に進行しています。

西条で育った若者の力は、今後のまちづくりに必要不可欠。そこで今回は、先日の成人式の様子とともに、二十歳の等身大の姿・思いをお届けします。

私たちが創る成人式

準備や運営に携わる実行委員会の委員長に、開催を控えた成人式への思いを聞きました。

新成人の力で

成人式は毎年、約15人の新成人で構成される実行委員会が主体となり準備や運営を行います。「こんな組織があることは知らなかった」と話すのは、今年の委員長を務める日野航輔さん。高校時代に野球部に所属し、リーダーシップがあったことから、恩師の誘いで実行委員会に入りました。

活動内容はアトラクションの決定や司会・謝辞などの役割分担です。9月から活動をスタートし、リハーサルを含め3回しかない実行委員会。「集中して会の進行をすることを心掛けました。初めて会う人もいたんですが、協力して良い雰囲気を取り組めたと思

ます」と限られた時間で準備を進めていきました。

式への思いとこれから

当日は西条と丹原の2会場で成人式が開催されます。「緊張感を持って運営したい」と当日の成功を誓うと同時に、「僕は地元で働いて、西条が好きです。でも大学などで地元を離れている人も多いと思うんですよ。当日は昔の友達とかと会って地元の良さを感じてもらい、数年後に帰ってきてくれたらうれしいですね」と同級生への思いを語ってくれました。

これからさらなる活躍が期待される新成人。「就職している人も進学している人も、3年目を迎える今年は大事

「みんなの思い出に残る成人式にしたい」



(上) 進行の確認をする実行委員
(下) 前日には会場でリハーサル

な1年になる。大人になるという自覚を持って引き締めてがんばりたい。そして心の支えとなっているのは、やっぱり親。すごく感謝しているし、ちゃんと育てることができたと思ってもらおうことが、僕の中での恩返し。そのためにもしっかり成長していきたいですね」と笑顔を見せてくれました。

覚えていますか？

20年前の出来事

新成人が生まれた平成10年度、こんな出来事がありました。

西条市

- ▼4月 西条産自主流通米「コシヒカリ」で学校給食スタート
- ▼5月 東予総合福祉センター内の「デイサービスセンターひまわり」がオープン
- ▼6月 アサヒビール四国工場完成

日本・世界

- ▼4月 明石海峡大橋が開通
- ▼6月 FIFAワールドカップフランス大会が開幕。日本代表が初出場
- ▼8月 横浜高校の松坂大輔投手が甲子園決勝でノーヒットノーランを達成し優勝
- ▼10月 任天堂が「ゲームボーイカラー」を発売



▲完成時の工場の航空写真

流行語大賞

- 「だっちゅーの」「ハマの大魔神」
- 「凡人・軍人・変人」

平成31年西条市成人式
実行委員会委員長

日野航輔さん

西条高等学校卒業後、東予信用金庫で営業を担当する社会人2年目。

夢を追いかける

社会人として仕事に励む人。学生として将来の夢をかなえるために勉強している人。さまざまな分野でがんばる新成人を取材。皆さん目標に向かって歩み続けています。



森高真美さん(神拝)

— profile —
神拝小学校→西条北中学校→西条農業高等学校を卒業後、指定障害者支援施設「星の里」に就職。2年目。



利用者と笑顔で会話

介護福祉士の資格取得に向けて！

現在、仕事で18歳以上の障がい者の入浴や食事など日常生活の支援をしています。学生時代から行事の運営などのボランティア活動に取り組み、人の役に立つことが好きだったため、介護を通じて人々の生活を幸せにしたいと思い介護福祉士を目指ようになりました。

働き始めたときは知識や経験もなく、社会人としても介護士としても未熟で苦労しました。それでも少しずつ成長できるよう、目の前にある仕事に全力で取り組んできました。施設の利用者が私の名前を覚えてくれたり、声掛けしたことに反応してくれたりなど、学生時代には想像もなかった普通に当たり前のよう出来事に喜びを感じ、それがやりがいへとつながっています。

目標は介護福祉士の資格を取ること。資格取得には3年間の実務経験が必要で、来年には筆記試験が受けられます。合格するためにも仕事と勉強をがんばりたいです。私の働く施設では、利用者が活動の一環として農作業を行っているので、今後は自分の経験を生かして、農業高校と交流するなど活動の場を広げていきたいです。

二十歳にQuestion

- Q. 休日の過ごし方は？
A. 雑貨屋や本屋巡り
Q. 好きなタレントは？
A. 土屋太鳳さん
Q. 最近の楽しみは？
A. 仕事帰りのスイーツ



村上嘉教さん(小松)

— profile —
小松小学校→今治東中等教育学校卒業後、長崎大学教育学部に進学。2年生。



日々勉強に励みます

夢は教員！ 充実したキャンパスライフを

私の夢は、ものづくりの楽しさや魅力を伝える技術科の教員になることです。その夢をかなえるため、高校3年生のときに現在の大学への進学を決意しました。

大学で学んでいることは、生徒への教え方や技術に関する基礎的な知識。技術を専攻しているため、木材の加工実習などもしています。担当する科目の知識がないと、生徒に教えることができないので、知識や技能の習得には特に力を入れています。大学生活で成長した部分は、コミュニケーション能力。授業でグループワークが多いので、会話を重ねていくうちに、少しずつ自分から意見を言えるようになりました。

大学生活では、勉強や部活など充実した日々を過ごすことができ

ます。これからは就職や教員採用試験に向けて、さらに勉強しないといけません。3年生になると、約1カ月の教育実習があります。実際の授業で学びがたくさんあると思うので、一日一日を大事にし、生徒のことを考え、明るく振る舞える教員になれるようがんばります。卒業後は地元で就職して技術の楽しさを生徒に伝えていきたいです。

二十歳にQuestion

- Q. 市内の行きつけの飲食店は？
A. マルブン小松本店
Q. 好きなテレビ番組は？
A. 水曜日のダウンタウン
Q. 20歳になってやったことは？
A. 沖縄旅行

憧れの白バイ隊員を目指し日々奮闘中！

白バイに乗りたい——。白バイのカッコよさに引かれ、警察を目指し始めたのは高校3年生のとき。インターンシップで西条警察署に行ったことがきっかけです。4歳から柔道をしていて体力には自信があった私は、それから勉強をして警察官になりました。

現在は交番に勤務し、パトロールや困り事相談の対応など地域の治安維持に努めています。住民と触れ合う機会が多いので、地域のことはもちろん社会情勢を把握し、常に自分の中での引き出しを増やすことを心掛けています。これまで約1年の交番勤務の中でうれしかったことは、行方不明者を発見して家族の方にすぐ感謝されたこと。事件などを自分の力で解決できたときには、すぐ

くやりがいを感じます。

夢はやはり白バイ隊員。そのためにもまずは目の前の仕事を全部できるようにならないといけません。今年は逮捕術訓練に励み、より心身を鍛えたいと思います。安心して過ごせる平和なまちにするため、どんな事件が起こっても自信を持って対処できる警察官に成長していきたいです。

二十歳にQuestion

- Q. マイブームは？
A. 甥っ子、姪っ子と遊ぶこと
Q. 憧れのスポーツ選手は？
A. 宇高菜絵さん(柔道)
Q. 今後挑戦したいことは？
A. キックボクシング



曾我部こゆきさん(大町)

— profile —
大町小学校→西条南中学校→西条高等学校を卒業後、愛媛県警察に就職。2年目。現在は山形警察署に所属。



憧れの白バイと一緒に

安心して仕事を任せられる大人に！

今の仕事と出会ったのは、高校2年生対象の就職フェアに参加したとき。お客さまのことを考えて商品を製作している会社の理念に魅力を感じ、就職を決めました。

ラインオペレーターとして働く私は、商品を製作する大きな機械の操作や品質管理をしています。機械に不備があると商品が台無しになるので、広い視野で細かい部分まで管理し、操作しないとダメです。またけがをする可能性もあるため、安全面にも細心の注意を払っています。社内には業務の習熟度を把握するチェックリストがあり、成長が目に見えて分かります。その項目ができるようになったときや、学んだことを後輩に教えることができたときに、やりがいを感じます。

専門的な知識を学びながら仕事に励んできた2年間。苦手であった年上の人とのコミュニケーションも少しずつできるようになりました。仕事ではミスをすると信用してもらえないし、任せてもらえない。将来は頼られる人になれるよう、仕事の基本のスキルはもちろん、ものづくりに携わる上での精度の高さを身に付けたいです。

二十歳にQuestion

- Q. 好きな俳優は？
A. ジェイソン・ステイサムさん
Q. 趣味は？
A. ドライブとプロレス観戦
Q. 思い出の旅行先は？
A. ロサンゼルス



徳永剣志郎さん(吉井)

— profile —
吉井小学校→東予東中学校→東予高等学校を卒業後、花王サニタリープロダクツ愛媛に就職。2年目。



心を込めて作ります

祝! 平成31年 西条市成人式

晴天に恵まれ開催された平成最後の成人式。会場は新成人のたくさんの笑顔に包まれました。



1. 開式前に友人と笑顔で会話する新成人 2. 新成人の皆さんを祝福した三芳祝太鼓の演奏 3. 「今まで育ててくださったご両親に感謝の思いを持って夢や目標に向かってがんばってください。応援しています」と当市出身の長友佑都選手からサプライズのビデオメッセージ 4. 司会や謝辞を担当した実行委員会の皆さん



ありのままの姿で取材に応じてくれた新成人。夢や目標に向かってがんばる姿はとても輝いていました。皆さん進む道は違いますが、さらに成長し、未来の西条市のまちづくりに貢献してくれることを願っています。



豊田郁乃さん

杉 佳華さん

越智光太郎さん

証木 稜さん

村上明莉さん

武田幸樹さん

松木俊介さん

近藤裕斗さん

佐藤志穂さん

岡村康彦さん

私たちの挑戦

これまで紹介した以外の実行委員会のメンバーに、目標や抱負を教えてくださいました。